

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
山梨の名前とシンボル		第3章 P.40, 41	
教科(領域)等	社会科 総合的な学習の時間	学年(分野)	3年生～6年生

1. 教材のねらいと概要

<p>県名の由来やシンボルなどを知ること、私たちの住んでいる山梨県に興味・関心を持たせる。</p> <p>(1) 山梨県の地名</p> <p>① 県名の由来</p> <p>② 山梨県の各市町村の位置と名前</p> <p>③ 珍しい地名の紹介</p> <p>(2) 山梨県の県の木・花・鳥・獣等の紹介</p> <p>① 県の木・県の花・県の鳥・県の獣</p> <p>② 山梨県の歌</p> <p>(3) 描いてみよう 山梨のしるし</p> <p>① 県章の紹介</p> <p>② 各市町村のシンボルマーク</p> <p>※紹介：国会議事堂にある「ヤマモミジ」について</p>
--

2. 活用例

教科名等	3年・社会科	単元(題材)名等	わたしたちの県のまちづくり
活用場面	活用場面		活用のポイント
山梨県の学習をする際の導入	県名やシンボルを理解するだけでなく、それぞれの由来を予想したり調べたりする活動を通して、山梨県に対する興味・関心をもたせる。子どもたちに調べさせてもよいが、時間がない場合は、教師が教えてもよい。		時間
			45分
教科名等	総合的な学習の時間	単元(題材)名等	わたしたちの住むまちを調べよう
活用場面	活用場面		活用のポイント
山梨県の学習をする際の導入	山梨県に関する学習を行う際の導入として、子どもたちに興味・関心をもたせるために、名前の由来やシンボルなどを取り上げ紹介する。		時間
			45分

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P.40 	あなたが住むまちの名前の由来も調べてみましょう。	自分が住む市町村・地域に興味・関心を持たせる。	略
P.41 	山梨県の県章には、どんな意味がこめられているのかな。	予想したり調べたりすることで、山梨県に対する興味・関心を持たせる。	周囲は富士山と武田菱を、中の は、 3つの人文字で山を形どっている。 
P.41 	私の学校の校章はダイヤモンドみたいな形をしています。	身近なシンボルマークに気付かせ、能動的な学習を促す。	略

4. 写真・資料の補説

(1) 【県の木】カエデ

一般的には、葉は緑色で、秋、霜をうけて美しく紅葉する。本県の山などを美しく彩るそのさまは、「山々の男ぶり見よ甲斐の秋(虚子)」などと詠まれている。【1966(昭和41)年9月制定】

(2) 【県の花】フジザクラ

4月から5月にかけて、富士の裾野を彩る。木はあまり大きくならず、花びらも小型で下むき加減に開く。きびしい富士の風雪に耐えてつつましくやかに咲く花は「和と忍耐」を表している。【1954(昭和29)年制定】

(3) 【県の鳥】ウグイス

春を告げる鳥として、昔からみんなに愛され親しまれている。里にも奥山にも生息し、他の鳥のひなを育てるという習慣をもっている。このことから、「明朗と慈愛」を表している。【1964(昭和39)年6月制定】

(4) 【県の獣】カモシカ

日本特産の特別天然記念物に指定されており、本県では、南アルプス、奥秩父、富士山、三ッ峠などの山岳地帯に生息している。高山のきびしい自然に耐えて生きていることから「忍耐・努力」を表している。【1964(昭和39)年6月制定】

(5) 県章

周囲は富士山と武田菱でうるわしい郷土を象徴しており、中は、3つの人文字で山梨の山を形どり、和と協力を表現している。【1966(昭和41)年10月1日告示】

5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・编者	発行年
2016やまなし 県のあらまし	山梨県広聴広報課	山梨県広聴広報課	2016
関連施設名	住所	電話	
山梨県庁	山梨県甲府市丸の内1-6-1	055-237-1111	
国会議事堂	東京都千代田区永田町1-7-1		
参考ホームページ			
山梨県県庁 → 県の木・花・鳥・獣			